

ろうさい ニュース

平成 30 年

11 月号

第 411 号

足のお話～外反母趾～

整形外科副部長 濱本 洋輔

平素より病診連携にご理解いただきありがとうございます。

この度ろうさいニュース整形外科のお話は身近なお話、外反母趾です。(図 1)

国民病ともいわれる外反母趾ですが、その 9 割が女性です。原因は解剖学的な母趾内転筋の硬さによるものや、骨格、ハイヒールなどがあげられます。また、母趾・第 2 足趾の長さの問題というよりも後脛骨筋の筋力の低下による偏平足・開張足が問題となることもあります。一般的に簡便には第 1 中足骨と母趾基節骨のなす角 (HV 角) が 15 度までを正常とし、15 度～30 度を軽度、40 度以上を重度外反母趾としております。(図 2) 疼痛を訴える場合、見た目が気になる場合や合う靴がなくなってきた場合などは治療の対象になります。外反母趾により MTP 関節が内反しバニオン (腱膜瘤) が形成される、足底にかかる荷重の中心が偏りにより胼胝 (いわゆるタコ) が形成されることにより (図 3) 痛みを感じます。変形が強くても歩行時の疼痛が弱く治療に抵抗されておられるうちに重度化してしてしまうのも現状です。

(図 1) 外反母趾



(図 2) HV 角



(図 3)



外反母趾の軽度の場合はアーチサポート（図4）や中足骨パッド（図5）といった装具やストレッチといった保存加療が第1選択となります。改善が乏しい場合や重度の場合は手術療法となります。

（図4）



（図5）



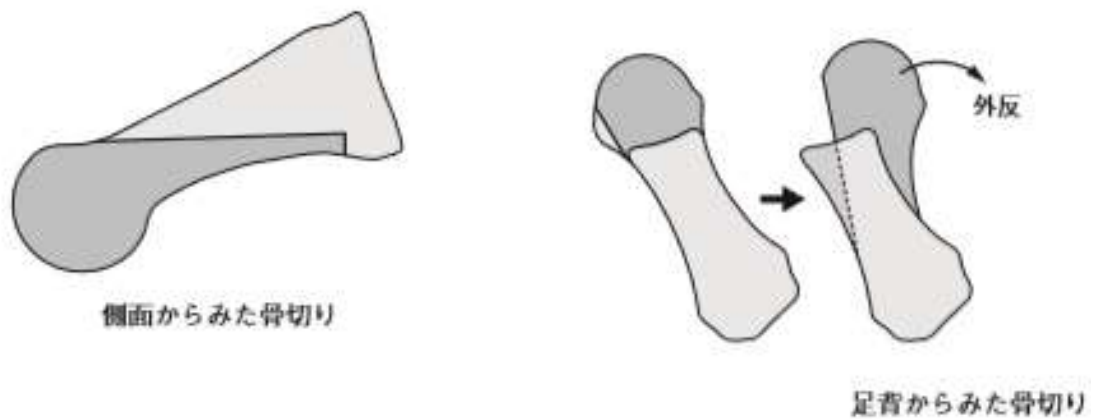
手術方法は実際には100種類程度の方法がありますが、重症度に合わせて骨切り部位を遠位、骨幹部、近位と分けて矯正骨切り術を行います。当院で行っている術式を紹介いたします。まず母趾変形が徒手的に矯正可能であり患者が2か月程度のギブス歩行に理解が得られる場合は第1中足骨遠位直線状骨切り術（DLMO法；図6）が適応となります。これは外反母趾で出っ張った部分（第1中足骨頭）のすぐ下で骨切りし、第2趾のほうに押し込みます。押し込んだ中足骨頭がもとの位置に戻ってこないよう、ブロックするためのピンを1本刺しておきます。骨癒合がある程度得られたところで、そのピンは外来で抜いてしまいます。

（図6）



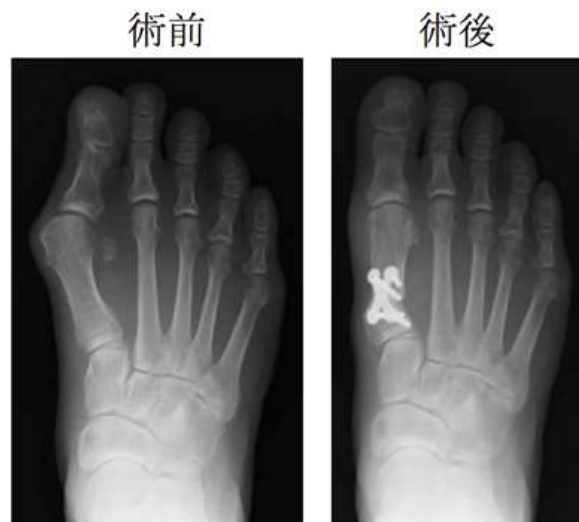
次に外反変形が強い場合には中足骨水平骨切り術（Scarff法；図7）を行っております。これは中足骨骨幹部を側方からみてZ状に骨切りし、中足骨頭を含む掌側骨片を外側に平行移動し螺子固定します。固定に螺子を用いることでより強固な固定と内・外反及び短縮・延長が自在に行えます。骨切り部の接触面積も大きく骨癒合しやすいため、比較的早期の荷重歩行が可能です。但しこの方法では母趾の回旋変形矯正が不十分となります。

(図 7)



外反変形及び回旋変形が強い症例には第 1 中足骨基部で外反骨切りを行うM a n n 変法 (図 8) を行っております。これは最もスタンダードな手術法です。第 1 中足骨近位を扇状に骨切りしそれを遠位骨を外反矯正し miniPlate にて固定、さらに第 1、第 2 足趾間に皮切をおき内転筋腱を母趾基節骨から切離し第 1 中足骨頸部に再縫着する方法です。これは強力な矯正力があります。また、重度外反母趾にて第 2, 3 足趾の脱臼も認める場合は中足骨短縮骨切り術も追加します。

(図 8)



ひとえに外反母趾手術といっても重症度、回旋具合や母指内転筋の拘縮具合や第 2, 3 足趾の変形も考慮にいれ術式を決定しなくてはなりません。当院でも積極的に外反母趾治療を行っておりますので、先生方の患者さんで、外反母趾でお困りの方がいらっしゃいましたら保存治療の指導も含めてご相談いただければ幸いです。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

第16回浜松東部呼吸器カンファレンスの開催について

平成30年12月12日(水)に、浜松東部呼吸器カンファレンスを下記のとおり開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成30年12月12日(水)
19:10~20:30

場 所：浜松労災病院 6階 大会議室

内 容：一般講演「当科で経験した稀少肺腫瘍3例の報告」
座長 くろいし内科クリニック院長
黒石 重城 先生

演者 浜松労災病院 呼吸器内科
深田 充輝 医師

特別講演「難治性喘息治療を考える2018
～実臨床の立場からの生物学的製剤の使い分け～」
座長 浜松労災病院 呼吸器内科
豊嶋 幹生 部長

演者 NTT 東日本関東病院 呼吸器センター長
放生 雅章 先生

特別講演の開催について

平成31年2月6日(水)に、京都大学医学部付属病院心臓血管外科の湊谷謙司教授をお招きして、特別講演を開催いたします。医療関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成31年2月6日(水)
19:00(予定)~

場 所：浜松労災病院 6階 大会議室

テーマ：「最近の心臓血管外科の話題」

演者 京都大学医学部付属病院心臓血管外科
湊谷 謙司 教授

独立行政法人 労働者健康安全機構

電話 053-411-0366

受付時間

浜松労災病院 地域医療連携室

fax 053-411-0315

月~金 8:15~18:00 土 8:15~12:00